

令和元年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	火育～火を学び災害時に生き抜く力を育む～実践事業
事業主体 (連絡先)	長野LP協会佐久支部 (佐久市跡部65-1 佐久地域振興局内 電話0267-63-3450)
事業区分	(4) 安全・安心な地域づくりに関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	780,935円 (うち支援金614,000円)

事業内容

1 火育を広域的に広めていく

「火育」とはどのようなものなのかを読者にイメージしてもらうため、読ませるための情報誌月刊『とわいえ』の記者に火育イベントの現場を取材してもらい、実際に感じたことを記事に掲載した。



2 火育プログラムの実施

【学習型プログラム】室内での学習

《火の必要性を学ぶ》

①人と火の歴史を学ぶ

②被災地で火が人々にどんな影響をあたえるか

③LPガスがどのように暮らしを支えているか

《LPガスの災害時での有用性を伝える》

①カセットコンロを活用し、持ち運べるLPガスを体感

②ガスとはどんなものか液体窒素を活用しての実験

③防災意識向上のためのパンフレットを配布

【体験型プログラム】屋外での学習

《火育マイスターを中心に火に親しんでもらい、安全な火の取り扱い方法を学ぶ》

(1) 炊き出し体験

アルファー米を活用して非常食作りを体験

(2) 火と取扱い体験

①マッチの着火体験

②火おこし体験

(3) アンケートの実施



【上：火育学習型プログラム】

【下：火育体験型プログラム】

3 火育実施イベント

●お仕事ゼミ ※佐久平浅間小学校主催

実施日：令和元年7月17日(水)

学習型プログラムを実施

●おおぞらまつり ※佐久平浅間小学校PTA主催

実施日：令和元年8月31日(土)

体験型プログラムを実施

●まちゼミ ※中佐都小学校主催

実施日：令和元年9月26日(木)

(別記様式第12号) (第3の8関係)

- 学習型プログラム、体験型プログラムを実施
- 跡部区防災訓練 ※跡部地区主催
実施日：令和元年9月29日(日)
学習型プログラム、体験型プログラムを実施
 - 軽井沢消防ふれあいフェスティバル 軽井沢町消防団、佐久広域連合、軽井沢消防署主催
実施日：令和元年10月6日(日)
体験型プログラムを実施

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① 月刊誌とわいえに火育イベントの取材記事を掲載。
広域的に「火育」を認知してもらうことができた。
掲載時期：令和元年10月25日(金)
配布部数 103,600部
配布地域 東信全域
- ② 火育プログラムの実施
【学習型プログラム】【体験型プログラム】に参加したことにより、参加者には火に対する理解を深め、防災に対する知識を深めてもらうことができた。
- ③ 各イベントで火育を実施したことにより、主催者である教育機関並びに消防関係者に、「火育」を理解してもらえ今後の連携構築に繋がった。

【目標・ねらい】

- ① 「火育」とはどのようなものなのかを多くの人に知って理解してもらいたい。
- ② 火育プログラムの参加者へ火に親しんでもらい、火の重要性を学んでほしい。
- ③ 子どものみならず、保護者並びに教育機関に「火育」の必要性和重要性を認識してもらう。

※自己評価【A】

【理由】

「火育プログラム」を各地で実施することにより、各関係機関との連携を構築することができるとともに、多くの人に火育による防災を周知でき、地域の防災力の向上に繋がった。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

『月刊誌とわいえ』に火育の記事を掲載した後に、来年度の火育プログラムへの参加希望問い合わせ連絡があり、今後はそのいった募集状況を見ながら、この事業をさらに広めて実施していきたい。

また、地域の自治体や教育機関とさらに連携を深めて、より実践的な防災教育を子どものみならず高齢者まで対象を広げて実施していき、防災力向上に繋げていきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある